

# 第1部 都立高校が変わる

## 1. 都立高校改革とは？

### 1 都立高校改革って何？

生徒の可能性を伸ばすよう、少人数指導や体験学習など様々な指導方法を取り入れ、次代を担う人間を育成していきます。

中高一貫教育校(20頁)や総合学科高校(14頁)など都立高校では今までにない新しいタイプの学校を地域のバランスを考えて設置し、様々な学習希望や進路希望に応えていきます。

それぞれの学校が、どのような教育を目指し、どのような授業を進めていくのか、生徒・保護者の皆さんにわかりやすく説明し、理解と協力を得ながら学校づくりをしていく仕組みをつくりま

す。平成9年度から平成18年度までの10年間の長期計画として進めています。3年ごとに実施計画の見直しを行っており、今回の新たな実施計画は、都立高校改革の締めくくりとなるものです。



### 2 都立高校はどのように変わるの？

すべての都立高校が、皆さんに選ばれる学校となるため、教育内容の充実に努めていきます。

各学校は、毎年学校の目標などを盛り込んだ学校経営計画をつくり、学校の財政状況などとあわせて公表します。

生徒・保護者の声を学校づくりに反映させます。

学校施設の開放や地域の人材活用など、都立高校と地域社会との連携を強めていきます。



## 子どもたちに自主自律の心を

この度の東京都の教育改革は「生徒の可能性を伸ばす都立学校改革の推進」です。また文部科学省が示した、人間力戦略ビジョンは、「新しい時代を切り拓くたくましい日本人の育成～画一から自立と創造へ～」ということです。いずれも、子どもたち一人一人に発達段階に応じた基礎・基本になる学力を身につけさせ、自ら学び考え行動できるたくましい精神、自主自律の精神を育むことが、新しい時代を切り拓く大きな力となるということです。

この度の都立学校改革は、子どもたちが、それぞれの能力・希望に応じて選択し、一人一人の個性、能力、可能性を十分に伸ばすことができるものです。

この都の教育改革を強力に推進するためには、いうまでもなく、学校・家庭・地域社会の十分な理解と連携がなければなりません、都民の皆さんの力強いご理解とご支援を頂きたいと思

教育委員長 清水 司

# [ 都立高校改革 Q & A ]

## 都立高校改革に関する疑問にお答えします

Q 都立高校改革によって学校数はどのようになるのですか？

A 全日制高校は203校、定時制高校は101校あります(平成14年12月現在)。都立高校改革により、生徒数の減少にあわせて学校数を調整し、平成23年度に全日制は180校、定時制は55校になります。

Q 学校が減って都立高校に入りにくくなりませんか。

A 都立高校は、公立中学校卒業生の一定割合を今までと同じように受け入れます。入りにくくなることはありません。なお、現行の計画では公立中学校卒業予定者の96%を都立と私立で分担して受け入れることとなっています。

Q 都立高校では進学対策が十分でないと言われていますが、十分な進学指導が受けられるようになりますか。

A 生徒・保護者の進学に対する強いニーズに応えるために、進学対策の充実に取り組んでいます。進学指導重点校や進学指導重点準備校(6頁)の指定、進学を重視する単位制高校(13頁)への改編等を通して、進学実績の向上を図り、現役での大学進学を目指します。

こうした学校の指導方法の改善などの成果は、他の都立高校にも提供し、都立高校における進学対策全般のレベルアップを図っていきます。

Q 夜間定時制高校を減らして、昼夜間定時制独立校をつくるのはなぜですか。

A 現在夜間定時制には、昼間は働いて夜でなければ高校に通うことができない生徒は少なくなっています。また、全日制課程と併置されている夜間定時制課程の高校では、例えば登校時間が午後5時からと定められることにより、先生の指導時間が十分に確保できず、図書館や体育館などの施設利用の面でも不便な点が多くあります。

午前や午後にも通うことができる定時制の独立校(22頁)を設置することで、多くの生徒が午前や午後に学ぶことができるようになり、全日制課程との併置による、様々な不便が解消されます。

さらに、定時制では4年間かけてじっくり学びますが、1日に学ぶ科目を増やせば3年間で卒業することも可能です。

### 中 学 生 諸 君 へ

都立高校OBの私にとって、今都立高校が元気なのはとても嬉しいことです。これからも私立高校とともに、東京の高校教育を担ってほしいと心から願っています。

私が高校進学した、今から50年ほど前は、進学率が高くないこともあって、どの高校も同じようなカリキュラムで教育を行っていました。今は全く違います。

このガイドブックを一読すればわかるように、単位制高校、総合学科高校、進学重点校、いろいろな専門

高校など様々なタイプの学校があり、それぞれが特色を出して生徒諸君のニーズに応えようと一生懸命努力しています。学区制もなくなり、東京中から、自分の適性や進学目的に合った高校を選択できます。

学校の先生や保護者の方々の意見なども参考にして是非そういう高校を見つけ、充実した高校生活を送ってください。

教育委員 國分 正明

Q 受験生が都立高校を志望する最大の理由は「授業料の安さ」にあります。進路指導や生活指導については、不満の声も聞かれます。都立高校改革を推進することで、こうした点は改善されるのでしょうか。

A 都立高校では、これまで進路指導や生活指導の充実に努めてきましたが、都立高校改革の推進を通して、より一層、都民の期待に応えられる学校づくりに取り組んでいきます。中高一貫教育校(20頁)、総合学科高校(14頁)やチャレンジスクール(22頁)等、新しいタイプの学校の設置や、進学指導重点校(6頁)やエンカレッジスクール(8頁)等の指定により、特色ある学校づくりを進めると同時に、既存の高校でもきめ細やかな進路指導や徹底した生活指導が実現できるよう都教育委員会が強く支援していきます。

また、保護者や地域の関係者が参加する学校運営連絡協議会で学校に対する評価を行い、その結果を学校の改善にいかして、生徒・保護者の期待に応えていきます。

Q 都立高校の学費はどれくらいですか。

A 全日制は、入学料が5,650円、授業料が年額111,600円、定時制は、入学料が950円、授業料が年額30,000円です。(平成14年4月1日現在)。その他に、各学校で定めるPTA会費、積立金等が必要です。

Q 経済的に厳しいのですが、補助は受けられますか。

A 授業料や入学料の納付が困難と認められる生徒に対して、授業料等を減額、又は免除する制度があります。また、勉強はしたいけれど、経済的理由により就学が困難な生徒のために、奨学金の制度があります。

## 成 熟 し た 市 民 社 会 を 創 る う

電車の中で化粧に余念がない娘さん。親の顔が見たいと思っていたら、アイ・シャドウと睫毛のカールに夢中な40歳位のおばさん。70歳代のおばあさんがまさかの口紅塗り。携帯電話使用禁止の車内放送も何のその、堂々と使い続ける人。弱者の為の優先席に座り続ける若者。…日常茶飯事の車中風景です。日本人の恥の文化や誇りは一体何処にいったのでしょうか。校門に一步足を踏み入るとどんな学校か判ります。この車中風景は外国人の目にはどう映っているのでしょうか。

ポイ捨て禁止条例(生活環境条例)を出す区ができましたが、これから夢の広がる携帯電話も迷惑条例で使用制限の出る日も近いのでは。ルールを守れない、自分を律せない自分勝手な日本人は、このままではお上の規制やお達しが無いと生活出来ない情けない状態に逆戻りです。多様化・複雑化・複合化が急速に進む世の中で、まず行政がやるべき事は、一人ひとりの希望や夢を出来るだけ叶えられる多様な仕組み作りです。禁止令は警官や監視官の増員となり、小さな政府を目指す東京都を逆に肥大化し、瀕死の赤字財政を直撃し、

新しい仕組み作りの挑戦や弱者救済に金が回らなくなるばかりか、主権者である都民に増税として付けが回ってきます。人間に便利さや豊かさをもたらす技術革新も一人ひとりの意識改革が進まないと、宝の持ち腐れどころか不便さや貧しさを増幅する負の道具と化してしまいます。

『東京を変え、日本を変える』を標榜、衰退の危機にある日本の再生を目指し教育改革に焦点を当てる石原都知事。『心の東京革命』の原点は敗戦後、半世紀に及ぶ大人たちの生き様の総決算が今日の子どもの姿であると言う、深い反省に立っています。意識改革の根幹をなすものは、徹底した『自己責任』、『自主・自律』であり、『行き過ぎた自由と平等』を是正し、『権利』の根っこにある『義務』を再認識する事です。一人ひとりが積極的に変わることによって逞しい個が生まれ、家族・地域が変わることによって『成熟した市民社会』が初めてこの日本に形成され、その先に新生日本の未来の輝きが必ず見えてきます。

教育委員 鳥海 巖